

平成20年度第2四半期における運用状況等

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っており、法令に基づき策定しました「独立行政法人農業者年金基金中期計画」において、四半期ごとの運用に関する情報を、本資料をもってホームページで公表することとしております。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思っておりますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

目 次

| | 頁 |
|--|---|
| 1. 平成20年度第2四半期（平成20年7月～9月）における運用環境について | 1 |
| 2. 平成20年度第2四半期（平成20年7月～9月）のポートフォリオ別の運用状況 | 2 |
| 3. ベンチマーク・インデックスの推移 | 4 |
| 参考：用語の説明 | 5 |

1. 平成20年度第2四半期（平成20年7月～9月）における運用環境について

○国内外の金融・経済情勢について

7月は、サブプライムローン(信用力の低い個人向け住宅ローン)問題による金融機関の損失拡大懸念が根強い中、原油価格が投機的資金の流入や供給不安などにより最高値を更新するなど、不安定な運用環境が続きました。米国では、政府系住宅公社の経営不安に対する連邦準備制度理事会(FRB)等による支援策により、株価は一旦上昇しましたが、金融不安が払拭されず、7月末の株価・国債金利とも、ほぼ6月末の水準に戻りました。国内市場もこれにつられる動きとなりましたが、リスク回避の動きがより顕著となり、6月末に比べ株安・債券高となりました。為替については、円は、ドル・ユーロのどちらに対しても円安基調で推移しました。

8月には、原油価格や円安・ドル高基調などに変化の兆しが見られたものの、米国における金融不安や国内外の景気減速懸念などが更に深まる展開となりました。国内では、原油価格の下落などの好材料もありましたが、不動産会社などの経営破綻があいつぎ、国内景気の先行き悪化懸念が一段と広がりました。為替については、円は引き続き、ドルに対して円安傾向でしたが、ユーロに対しては、ユーロ圏の景況感の悪化から、円高基調で推移しました。

9月に入ると、世界的な金融不安の高まりと景気減速懸念を背景に世界同時株安の様相が強まりました。9月中旬、米国大手証券会社の経営破綻により、株価が急落しました。その後、米国において金融安定化策が発表されると急反発することもありましたが、月末に金融安定化法案が下院で否決されたことを受け、金融危機の拡大懸念から一気に株価が暴落するなど、激しく乱高下する展開となりました。欧州等でも、金融危機拡大懸念から、米国市場同様に混乱しました。国内市場も世界的な株価急落に加え、円高進行や設備投資鈍化による国内企業の業績悪化懸念から、株式市場は大幅に下落しました。なお、為替については、米国での信用不安の再燃などから、ドルに対して円高基調で推移するとともに、欧州の景気減速懸念の強まりから、ユーロに対して更に円高が進みました。

(注) 資産毎の「ベンチマーク・インデックスの推移」を4ページに掲載しておりますので、ご参照下さい。

2. 平成20年度第2四半期(平成20年7月～9月)のポートフォリオ別の運用状況

①被保険者ポートフォリオ

平成20年度第2四半期(平成20年7月～9月)における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成20年9月末の時価総額は1,127億1百万円となり、第2四半期の総合収益は-42億52百万円となりました。また、修正総合利回りは-3.69%となりました。

平成20年度通期(平成20年4月～9月)の総合収益は-28億1百万円、修正総合利回りは-2.49%となりました。

(単位:百万円、%)

| 資産 | 平成20年6月末 時価総額 ① | 第2四半期保険料・ 国庫補助投下額② | 計 ③(①+②) | 平成20年9月末 時価総額 ④ | 時価総額 構成割合 | 第2四半期総合収益 ④-③ | (参考) 修正総合 利回り |
|------|--------------------|-----------------------|-------------|--------------------|--------------|------------------|---------------------|
| 国内債券 | 80,612 | 290 | 80,902 | 81,417 | 72.2 | 515 | 0.64 |
| 国内株式 | 14,019 | 1,496 | 15,515 | 13,053 | 11.6 | -2,463 | -17.16 |
| 外国債券 | 5,740 | 225 | 5,965 | 5,702 | 5.1 | -264 | -4.52 |
| 外国株式 | 13,418 | 976 | 14,395 | 12,379 | 11.0 | -2,016 | -14.61 |
| 短期資産 | 378 | -202 | 176 | 151 | 0.1 | -25 | -6.26 |
| 合計 | 114,168 | 2,786 | 116,953 | 112,701 | 100.0 | -4,252 | -3.69 |

(注) 1. 「第2四半期保険料・国庫補助投下額②」では、受給権者ポートフォリオ等への繰入額が除かれています。

2. 有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替差損益等は、短期資産で整理しています。

3. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成20年度通期(平成20年4月～9月)の運用状況

(単位:百万円、%)

| 資産 | 平成19年度末 時価総額 ① | 平成20年度保険料・ 国庫補助投下額② | 計 ③(①+②) | 平成20年9月末 時価総額 ④ | 時価総額 構成割合 | 平成20年度総合収益 ④-③ | (参考) 修正総合 利回り |
|------|-------------------|------------------------|-------------|--------------------|--------------|-------------------|---------------------|
| 国内債券 | 80,207 | 1,000 | 81,207 | 81,417 | 72.2 | 210 | 0.26 |
| 国内株式 | 15,108 | -871 | 14,237 | 13,053 | 11.6 | -1,184 | -8.96 |
| 外国債券 | 3,229 | 2,596 | 5,825 | 5,702 | 5.1 | -124 | -2.20 |
| 外国株式 | 9,200 | 4,826 | 14,026 | 12,379 | 11.0 | -1,647 | -12.33 |
| 短期資産 | 2,140 | -1,933 | 207 | 151 | 0.1 | -56 | -16.81 |
| 合計 | 109,884 | 5,618 | 115,502 | 112,701 | 100.0 | -2,801 | -2.49 |

②被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成20年度第2四半期(平成20年7月～9月)における被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

| 区 分 | 資 産 | 平成20年6月末 時価総額 ① | 第2四半期繰入額 ② | 計 ③(①+②) | 平成20年9月末 時価総額 ④ | 第2四半期総合収益 ④-③ | (参考) 修正総合 利 回 り |
|-------|------|--------------------|---------------|-------------|--------------------|------------------|-----------------------|
| 付利準備金 | 短期資産 | 559 | 164 | 723 | 723 | 0 | 0.05 |
| 調整準備金 | 短期資産 | 460,484 | -1,842 | 458,641 | 459,355 | 714 | 0.16 |
| 合 計 | | 461,043 | -1,679 | 459,364 | 460,077 | 712 | 0.16 |

(注)「第2四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

③受給権者ポートフォリオ

平成20年度第2四半期(平成20年7月～9月)における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

| 資 産 | 平成20年6月末 時価総額 ① | 第2四半期繰入額 ② | 計 ③(①+②) | 平成20年9月末 時価総額 ④ | 第2四半期総合収益 ④-③ | (参考) 修正総合 利 回 り |
|------|--------------------|---------------|-------------|--------------------|------------------|-----------------------|
| 国内債券 | 1,202,976 | 324,640 | 1,527,617 | 1,547,435 | 19,818 | 1.51 |
| 短期資産 | 32,316 | 37,150 | 69,466 | 69,511 | 45 | 0.10 |
| 合 計 | 1,235,293 | 361,790 | 1,597,083 | 1,616,946 | 19,863 | 1.46 |

(注)「第2四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれています。

④受給権者危険準備金ポートフォリオ

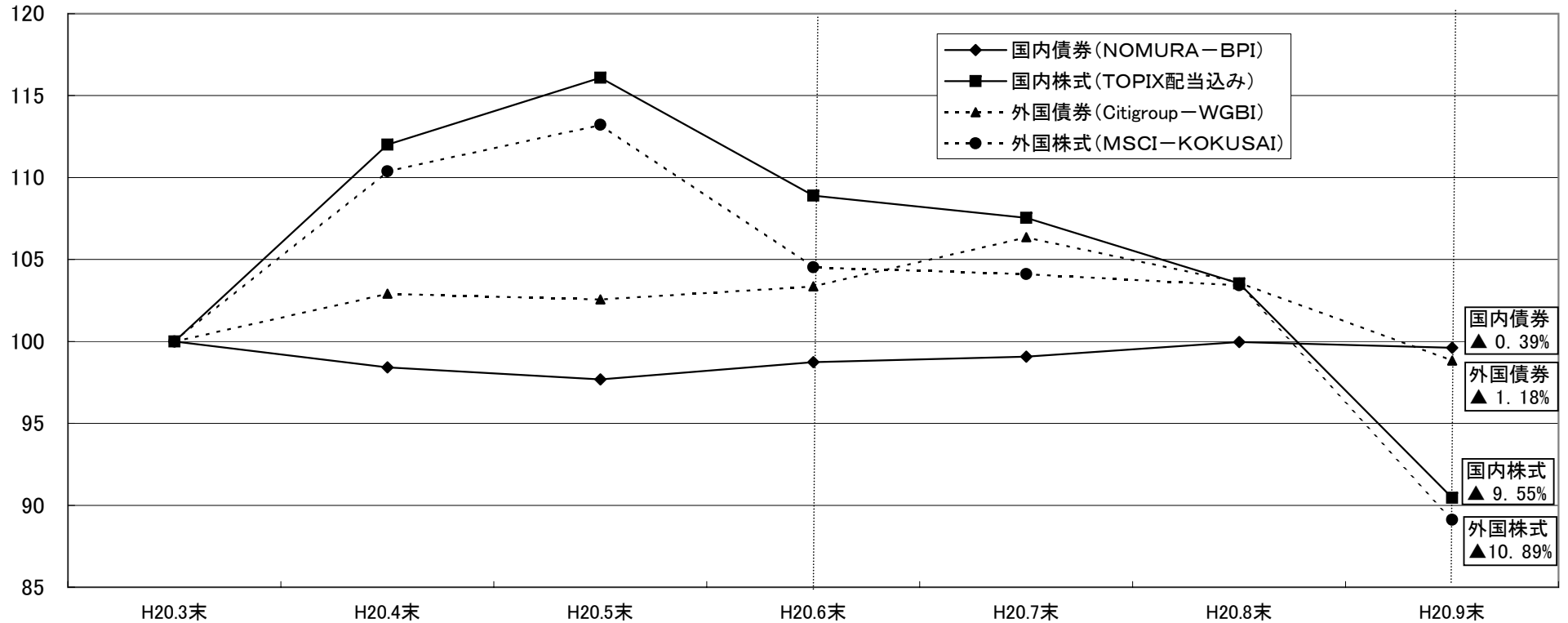
平成20年度第2四半期(平成20年7月～9月)における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:千円、%)

| 区 分 | 資 産 | 平成20年6月末 時価総額 ① | 第2四半期繰入額 ② | 計 ③(①+②) | 平成20年9月末 時価総額 ④ | 第2四半期総合収益 ④-③ | (参考) 修正総合 利 回 り |
|-------|------|--------------------|---------------|-------------|--------------------|------------------|-----------------------|
| 調整準備金 | 短期資産 | 176,745 | 16,425 | 193,169 | 193,446 | 276 | 0.15 |

(注)「第2四半期繰入額②」では、被保険者ポートフォリオ等からの受入額が含まれています。

3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H20.3末=100)



○運用環境

| | 平成20年3月末 | 平成20年6月末 | 平成20年9月末 |
|------------------|----------------|----------------|----------------|
| 国内債券(新発10年国債利回り) | 1.274 % | 1.590 % | 1.460 % |
| (NOMURA-BPI総合) | 312.047 ポイント | 308.113 ポイント | 310.842 ポイント |
| 国内株式(日経225) | 12,525.54 円 | 13,481.38 円 | 11,259.86 円 |
| (TOPIX配当込) | 1,450.00 ポイント | 1,579.09 ポイント | 1,311.57 ポイント |
| 外国債券(米国10年国債利回り) | 3.425 % | 3.964 % | 3.829 % |
| (Citigroup-WGBI) | 338.08 ポイント | 349.45 ポイント | 334.10 ポイント |
| 外国株式(NYダウ) | 12,262.89 ドル | 11,350.01 ドル | 10,850.66 ドル |
| (MSCI-KOKUSAI) | 1,419.472 ポイント | 1,483.695 ポイント | 1,264.948 ポイント |
| 為替レート(対ドル) | 99.53 円 | 106.01 円 | 106.17 円 |
| (対ユーロ) | 157.72 円 | 167.02 円 | 149.12 円 |

用語の説明

○ ポートフォリオ

性質が同じ資金をまとめて運用するための運用単位のこと(同義語 ファンド)。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村証券金融経済研究所が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* Citigroup-WGBI(日本を除く)

シティグループが作成している外国債券市場の指標。主要先進国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

* MSCI-KOKUSAI(配当込)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。